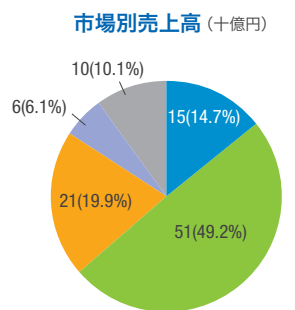
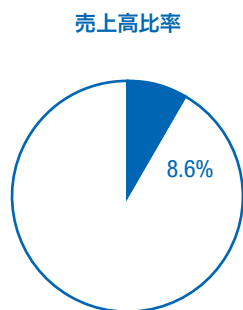


特機事業

2012年の特機事業の売上高は、前年比33億円(3.3%)増の1,036億円となり、全体の売上高の8.6%を占めました。また、営業利益は製造物賠償責任引当金の戻し入れの影響もあり、同69億円(92.9%)減の5億円となりました。



■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ アジア(日本を除く) ■ その他



ATV・SSV事業

米国需要が緩やかに回復へ

2012年のATV(四輪バギー)総需要は、主要市場の米国での暖冬影響や一次産業の業績改善の結果、ATVへの消費マインドが高まり、2006年以降6年ぶりに需要が伸長しました。しかしながら欧州の需要は依然低迷しており、全世界では前年比0.4%減の52万台となりました。

当社においても、ユーティリティ系ニューモデルの販売は好調だったものの、欧州低迷の影響により2012年のATV出荷台数は全世界で前年比6.3%減の7.0万台となりました。



一方、SSV(サイド・バイ・サイド・ビークル)については、米国において2013年モデルの特別仕様車が市場から高評価を獲得し販売が増加しました。しかしながらATVの販売減少の影響は大きく、2012年の当社ATV・SSV事業の売上高は同4.6%減の400億円となりました。

2013年のATV総需要は、米国需要が緩やかに回復へ向かう一方、当社の強みであるスポーツモデルの顧客層の消費マインドや欧州市場回復にはまだ時間がかかると見ており前年比1.0%減の51.1万台と見込んでいます。

当社では、2013年のATV販売台数は全世界で前年比9.5%減の6.4万台を計画し、SSV販売台数に関しては、前年並みの0.6万台の販売を予定しています。

スノーモビル事業

ロシアでの需要・販売が拡大

2012年のスノーモビルの総需要は、主にロシアや欧州で伸長したものの、米国は暖冬などの影響により減速し、前年比1.8%減の13.6万台となりました。

当社は、業務モデル投入などで、ロシア市場での販売拡大は果たしたものの、北米での販売減により、2012年の販売台数

は前年比0.8%減の2.1万台に、売上高は前年比1.4%減の149億円となりました。

2013年のスノーモバイル総需要は、米国経済の回復により前年比5.9%増の14.4万台を見込み、当社でも前年比32.3%増の2.8万台の販売を計画しています。

ゴルフカー事業

国内・北米ともに販売を回復

2012年のゴルフカーの総需要は、国内および北米や新興国での需要増加により、前年比1.4%増の16.6万台となりました。

当社では、国内・北米を中心に積極的な拡販策を継続した結果、2012年の販売台数は前年比14.2%増の5.4万台、売上高は同18.0%増の213億円となりました。

2013年のゴルフカー総需要は、米国経済回復への期待から前年比1.1%増の16.8万台を見込み、当社でも前年比3.4%増の5.6万台の販売を計画しています。

発電機・汎用エンジン事業

低燃費エンジンや低価格発電機の開発を加速

2012年の当社の販売台数は、国内での防災意識の高まりに

よる需要の取り込みや米国経済の回復などにより、前年比14.8%増の18.4万台に、売上高は同12.7%増の192億円となりました。

当社では2012年に中国・江蘇省で年間20万台規模の生産能力を有する発電機工場を立ち上げ、エンジンとの一貫生産体制を確立させました。この体制のもと低燃費エンジンや低価格発電機の開発を加速させて、新たな製品導入を行いさらなる事業拡大を目指します。



EF1600iS



G30A

Rhino 700



スナップショット

トップインタビュー

特集

事業の概況

CSR情報

企業情報

財務セクション